

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
1	<p>【目標】 交通事故のない社会を目指して、人命尊重の理念に基づき、究極的には交通事故のない社会を目指す。 また、死者数の一層の減少に取り組むことはもちろんのこと、事故そのものの減少についても積極的に取り組む。</p> <p>【定量的指標】 ●年間の交通事故死者数 120人以下 ●年間の交通事故発生件数 40,000件以下</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H27	H25	交通安全施設整備に関する事業	※第9次(平成23～27年)福岡県交通安全計画(平成23年度末策定予定)
2	<p>【目標】 産業教育の振興を図り、産業・経済の発展に貢献できる有為な人材を育成する。</p> <p>【定量的指標】 ●産業教育に必要な実験・実習装置等の整備 平成23年度 県立高校4校</p>	H23	-	学校施設環境改善に関する事業	
3	<p>【目標】 将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を育成し、これらの経営体が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、高生産性農業の展開が見込まれる水田地域の整備を着実に推進するとともに、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することを目指す。</p> <p>【定量的指標】 ●実施区域の担い手の農地利用集積率の向上 平成22年度 61.3% → 平成26年度 68.2%</p>	H26	H25	農山漁村地域整備に関する事業	※農山漁村地域整備交付金交付対象事業との総合効果により目標を達成するものであり、「福岡県活気ある農山漁村地域整備計画」にて左記成果目標を設定、公表している。
4	<p>【目標】 耕作放棄地の発生防止及び優良農地の確保と有効活用を実現するとともに、生活環境の改善を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●生産基盤整備(農業用排水、農道、ほ場整備等)により確保された優良農地面積 平成26年度 1,046.2haの増</p>	H26	H25		

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
5	<p>【目標】 地域資源・環境の維持・保全に向けた施設の長寿命化対策として、機能保全コストの削減を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●機能保全コスト軽減率＝(1－(保全計画に基づく機能保全コスト/従来の対応を採用した際の機能保全コスト))×100] 平成26年度 20.6%の削減</p>	H26	H25	農山漁村地域整備に関する事業	※農山漁村地域整備交付金交付対象事業との統合効果により目標を達成するものであり、「福岡県活気ある農山漁村地域整備計画」にて左記成果目標を設定、公表している。
6	<p>【目標】 食料自給率確保のため、湛水を引き起こす原因となっている水路機能障害の解消及び降雨時の貯留機能の確保のため水路整備を実施する。</p> <p>【定量的指標】 ●機能障害のない整備された水路の確保 平成26年度 55,419mの増</p>	H26	H25		
7	<p>【目標】 機能が低下したため池、排水施設及び河川工作物等を改修することにより、農地等の災害防止を図り、国土の保全等に資する。</p> <p>【定量的指標】 ●被害が生じにくい農地面積の増加 平成26年度 3,151haの増</p>	H26	H25		
8	<p>【目標】 海岸施設(堤防、養浜、離岸堤、護岸工等)の機能低下を未然に防止し、健全な海岸を回復するため、防護機能を確保する。</p> <p>【定量的指標】 ●防護面積の増加 平成26年度 400haの増</p>	H26	H25		

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
9	<p>【目標】 森林の山地災害を未然に防ぐ集落数の増加を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●集落数 平成22年度 1,755集落 → 平成26年度 1,794集落</p>	H26	H25	農山漁村地域整備 に関する事業	※農山漁村地域整備交付金交付対象事業との 統合効果により目標を達成するものであり、「福 岡県活気ある農山漁村地域整備計画」にて左記 成果目標を設定、公表している。
10	<p>【目標】 路網整備の拡充及び森林整備の推進により間伐材利用量の増加を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●間伐材利用量 平成22年度 37,058m³ → 平成26年度 51,867m³</p>	H26	H25		
11	<p>【目標】 水産基盤整備等により漁獲物の増産を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●漁獲物の増産量 平成26年度 102トンの増</p>	H26	H25		
12	<p>【目標】 漁港における就労環境改善のため、陸揚げや積込等が容易となる物揚場の整備を行い、労働時間の短縮を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●陸揚等の就労時間 平成22年度 30(分/回) → 平成26年度 10(分/回)</p>	H26	H25		

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
13	<p>【目標】 福岡都市圏における主要な交通拠点へのアクセスを強化する道路整備を行うことにより、都市圏が持つポテンシャルの向上及び生活環境・都市景観の向上を図るとともに、人にやさしい活力ある地域づくりを行う。</p> <p>【定量的指標】 ●福岡空港、博多駅30分到達カバー人口比率の拡大 福岡空港 平成19年末 45.7% → 平成24年末 47.1% 博多駅 平成19年末 52.2% → 平成24年末 53.1%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H24	-		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「福岡都市圏における主要交通拠点へのアクセス強化」において左記目標を設定している。
14	<p>【目標】 生活中心都市へのアクセスを改善する道路整備を行い、安心で安全なゆとりある基礎生活圏の形成を行う。地域住民の快適かつ安心な生活環境を確保する。</p> <p>【定量的指数】 ●二次地方生活圏中心都市への60分到達カバー人口比率の拡大 久留米市 平成20年 87.6% → 平成24年末 91.7% 大牟田市 平成20年 54.2% → 平成24年末 61.7%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H24	-	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「筑後地域の中心都市へのアクセス改善によるゆとりある基礎生活圏の形成」において左記目標を設定している。
15	<p>【目標】 福岡、北九州両都市圏の中間に位置する筑豊地域のポテンシャルを活かすことのできる道路整備を行い、各都市の安全。安心かつゆとりある生活環境の確保による地域の浮揚を図る。</p> <p>【定量的指数】 ●主要交通拠点60分到達カバー人口比率の拡大 新北九州空港 平成19年末 48.1% → 平成24年末 51.8% ●高速IC30分到達カバー人口比率の拡大 九州縦貫自動車道IC 平成19年末 56.5% → 平成24年末 57.5%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H24	-		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「筑豊地域の地域ポテンシャル向上」において左記目標を設定している。

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
16	<p>【目標】 東九州軸における主要交通拠点へのアクセスを強化する道路整備を行い、地域産業の物流支援や観光業の発展に寄与すると共に更なる生活環境の向上を図る。</p> <p>【定量的指数】 ●東九州自動車道のICへの30分到達カバー人口の拡大 平成19年末 874,075人 → 平成24年末 874,192人 ●苅田港への60分到達カバー人口の拡大 平成19年末 1,153,050人 → 平成24年末 1,153,451人</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H24	-	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「東九州軸における主要交通拠点へのアクセス強化」において左記目標を設定している。
17	<p>【目標】 道路交通環境を整備することで、福岡県内の道路における死傷事故率が削減され、安全・安心な道路交通環境を実現する。 特に、小学校等に通うための多くの児童が利用する通学路について、安全・安心な歩行空間を確保する。</p> <p>【定量的指数】 ●福岡県内における死傷事故率 平成20年度から平成24年度で1割削減</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H24	-		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「交通安全・交通環境の向上」において左記目標を設定している。
18	<p>【目標】 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって河川事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●過去に浸水被害の発生した河川におけるそれぞれの改修規模に応じた整備率の増加 平成22年当初 35% → 平成26年末 43%</p> <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	-		※社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)「福岡県における県域一体となった災害に強い安全安心な県土づくりの推進」において左記目標を設定している。

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
19	<p>【目標】 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって河川事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●水位計のIPテレメータ化の増加(水防活動や避難活動に資する情報の充実を図る) 平成22年当初 0局 → 平成26年末 55局</p>	H26	—	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)「福岡県における県域一体となった災害に強い安全安心な県土づくりの推進」において左記目標を設定している。
20	<p>【目標】 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって砂防事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●ハード対策の推進による土砂災害から保全される人口の増加 平成22年当初 51,000人 → 平成26年末 54,000人 (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	H24		
21	<p>【目標】 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって砂防事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●土砂災害から住民の生命・身体を守るため、市町村が実施する警戒避難体制の整備に資する土砂災害警戒区域等の指定数の増加 平成22年当初 972箇所 → 平成26年末 13,150箇所 (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	H24		

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
22	<p>【目標】 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、県域が一体となって海岸事業を実施することにより、災害に強い福岡県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●豊前豊後沿岸域において、計画高潮発生時に浸水被害を受けることが想定される区域の減少 平成22年当初 570.8ha → 平成26年末 398.4ha (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	H24	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)「福岡県における県域一体となった災害に強い安全安心な県土づくりの推進」において左記目標を設定している。
23	<p>【目標】 港湾緑地の整備や既存港湾施設の改良等を行い、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●港湾における荷役等の施設利用に対する支障の低減 支障率 平成22年 35% → 平成26年 0% (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	H24		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「福岡県の港湾における利便性・安全性の向上」において左記目標を設定している。
24	<p>【目標】 港湾緑地の整備や既存港湾施設の改良等を行い、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●長寿命化計画策定完了施設の増大 平成22年 計画策定施設率21% → 平成26年 100% (他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H26	H24		

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
25	<p>【目標】 既存の都市公園において都市公園移動円滑化基準に適合していない公園施設や老朽化した公園施設が多数有るため、それらのバリアフリー化、改築・更新を行い、県民にとって安全で快適な魅力ある公園を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ●都市公園等移動円滑化基準への適合 (都市公園の公園施設のうち園路、駐車場、便所) 園路 11% → 100% 駐車場 71% → 100% 便所 56% → 100%</p> <p>(他事業との統合効果により目標を達成する)</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(市街地整備)「福岡県安全・快適な魅力ある公園づくり事業」において左記目標を設定している。
26	<p>【目標】 福岡都市圏における都市基盤の整備により、福岡市を中心とした周辺市街地の渋滞緩和と効率的な物流を確保し、経済活力の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 ●幹線道路までの総短縮時間 0.0 → 1,549(Σ(要素事業による総短縮時間×当該地点交通量))</p> <p>(他事業との統合効果により目標を達成する)</p>	H24	—		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「国際ネットワーク時代を担う地域拠点の形成とアメニティの向上に資するまちづくり」において左記目標を設定している。
27	<p>【目標】 空港・港湾・ICといった拠点周辺の都市基盤整備を図ることで、物流拠点へのアクセス時間の短縮を図り、交流連携機能を高める。</p> <p>【定量的指標】 ●高次救急医療施設へのアクセス総短縮時間 0.0 → 225(Σ(要素事業による総短縮時間×当該地点交通量))</p> <p>(他事業との統合効果により目標を達成する)</p>	H24	—		※社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)「国際物流拠点としての交流連携機能を高めるまちづくり」において左記目標を設定している。

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る成果目標

福岡県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
28	<p>【目標】 下水道の整備促進により、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(流域関連市町)下水道処理人口普及率 84.9% → 87.9% ●下水道施設の長寿命化計画策定率 12.5% → 100.0% ●改築工事(長寿命化)実施率 0.0% → 100.0% <p>(他事業との統合効果により目標を達成する)</p>	H27	H25		※社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)「快適な生活環境の整備」「遠賀川水系の水環境改善」において目標を設定しており、左記目標は県事業分である。
29	<p>【目標】 将来世代に継承できる良質な住宅ストックと良好な居住環境の形成を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バリアフリー化県営住宅の割合 33% → 40% (バリアフリー化県営住宅の割合) =(県営住宅のバリアフリー化された戸数)/(県営住宅の全住戸数) ●県営住宅の長寿命化改善の割合 16% → 35% (県営住宅の長寿命化改善の割合) =(平成2年度以前建設の県営住宅の長寿命化改善の割合) /(平成2年度以前建設の県営住宅の管理戸数) <p>(他事業との総合効果により目標を達成する)</p>	H27	H25	社会資本整備に関する事業	※社会資本総合整備計画(地域住宅支援)「福岡県住宅・住環境整備計画」において左記目標を設定している。
30	<p>【目標】 九州自然歩道の再整備を行うことにより、自然とのふれあい及び快適な利用の推進を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●九州自然歩道の再整備延長 30Km 	H25	—	自然環境整備に関する事業	